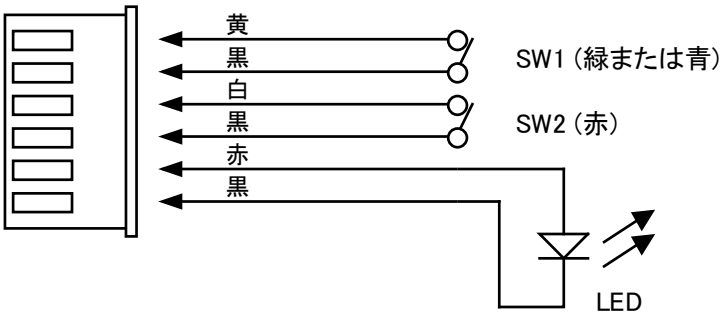
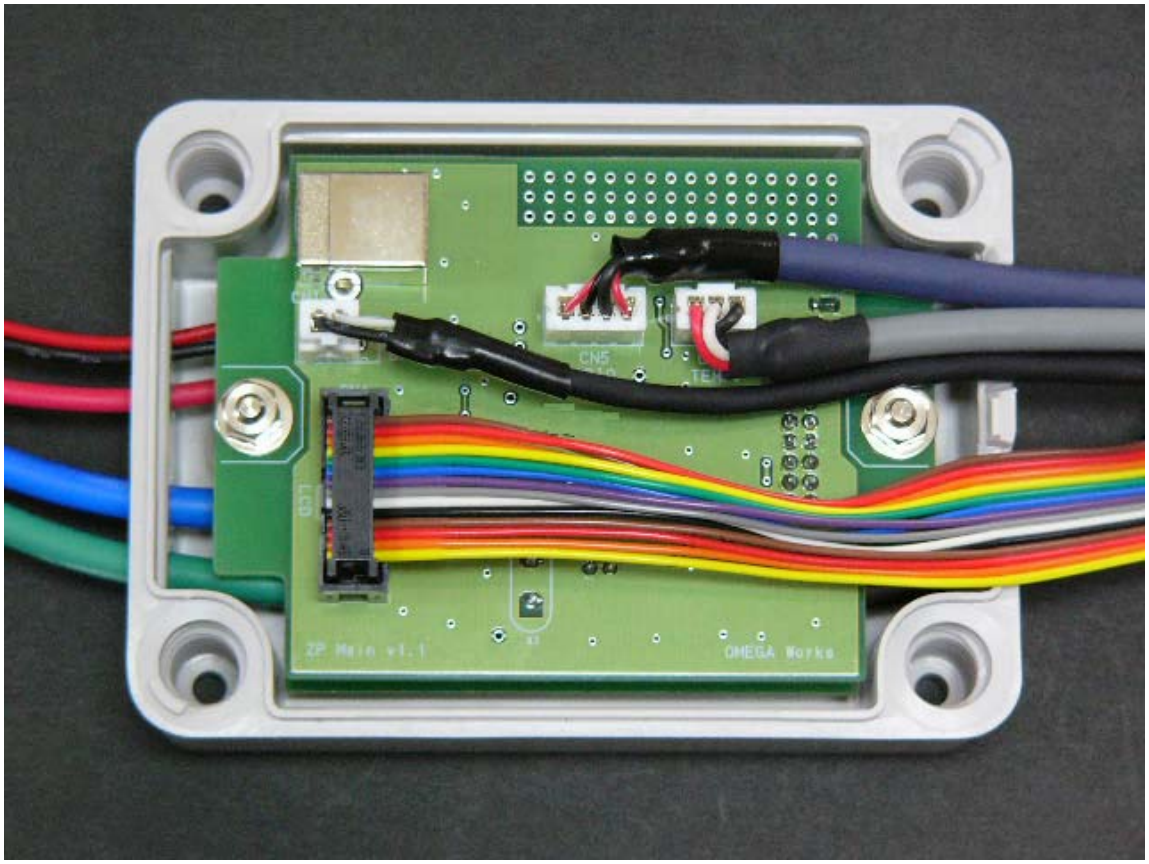
・操作スイッチと LED ランプ
操作スイッチと LED ランプの電線の一部はコネクタに挿入しておりません。
スイッチと LED ランプをパネルなどに取り付けてから、電線をコネクタに挿入して下さい。

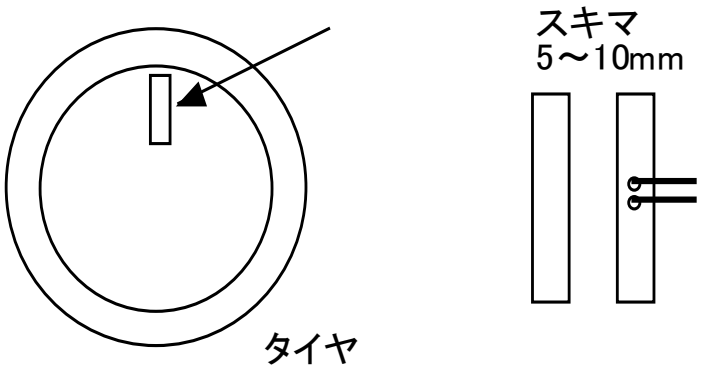


・送信機
送信機と ZP 本体を接続するケーブルの両端には、同じ4ピンのコネクタがついていますが、送信機側と本体側とが決まっています。ケーブルの表記を参照して接続して下さい。

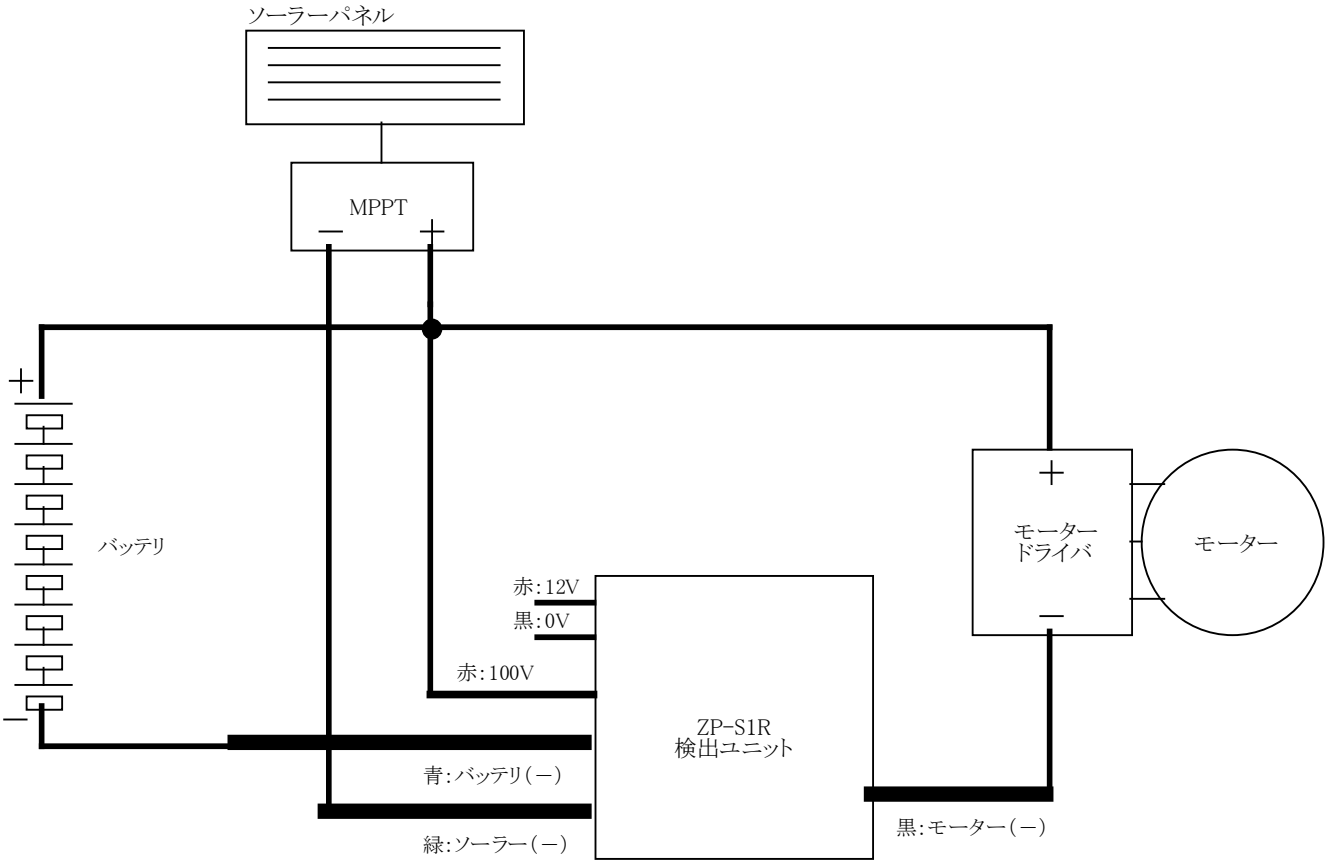
・本体ケース上蓋をあけて、各ケーブルをそれぞれのコネクタにさしてください。ケーブルの引き回しの様子は写真を参照してください。



・速度検出用のマグネットスイッチは、マグネットとスイッチの対向距離を 5mm から 10mm 程度になるように取り付けてください。また、磁気の影響を避けるため、駆動輪ではない方の車軸に取り付けて下さい。またマグネットスイッチの取り付け方向は、図のように車輪の回転と直角方向に取り付けてください。



・ZP 本体の電力線は下図のように、バッテリ、ソーラー、モーターのマイナス側につなぎます。ライン電圧測定用の電線のみ、プラス側につなぎます。+12V には補機用電源をつなぎます。



・メモリに記録したデータをパソコンにダウンロードするためには、ZP 本体の上蓋をはずして、ZP 本体とパソコンをUSBケーブルでつなぐ必要がありますが、すこし面倒なので、代わりに、メモリ記憶データを最初から全部、無線で送信し直す機能を用意してあります。
レース終了後、データ記録を停止してから、設定画面の最後のページの「RF TX Reset」画面でリセットを実行すると、メモリ記憶データを最初から全部、無線で送信します。このとき送信するのは、ソーラー電流、バッテリ電流、モーター電圧、補機電圧、速度のデータです。